

# 平成18年度 高冷地水稻生育速報(第6報)

岐阜県中山間農業研究所

## 1. 生育概況(7月11日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色		葉 齢
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	57.9 (93%)	615 (113%)	4.5 (-0.2)	38.6 (+1.1)	9.6 (-0.3)
	前年	60.2	575	4.2	34.4	10.6
	平年	62.0	542	4.7	37.5	9.9
コシヒカリ	本年	61.5 (92%)	588 (107%)	4.6 (-0.2)	38.0 (+1.2)	9.6 (-0.6)
	前年	70.0	533	4.6	39.0	10.1
	平年	67.1	549	4.8	36.8	10.2
たかやまもち	本年	66.1 (102%)	562 (116%)	5.1 (+0.1)	42.7 (+5.3)	9.6 (-0.8)
	前年	65.0	433	4.7	37.8	10.4
	平年	64.6	484	5.0	37.4	10.4
ひだほまれ	本年	64.8 (94%)	397 (93%)	4.8 (+0.3)	39.1 (+2.6)	10.2 (-0.5)
	前年	73.8	464	4.3	36.3	11.1
	平年	69.2	427	4.5	36.5	10.7

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m<sup>2</sup> 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間の平均値

( )内の数値は対平年値

## 2. 生育状況と当面の管理

### 1) 生育状況

草丈は、「たかやまもち」で平年並みであるが、他の品種では平年より短めとなっている。

茎数は、「ひだほまれ」で平年より少ないが、他の品種は平年より多くなっている。「ひとめぼれ」及び「コシヒカリ」でも前回より茎数が減少し、最高分けつ期を経過した。

葉色は、葉色板では「ひだほまれ」で平年よりやや濃く、「ひとめぼれ」及び「コシヒカリ」ではやや淡くなっている。

SPAD値ではいずれの品種も平年より値が高く、特に「たかやまもち」の値が高い。「たかやまもち」及び「ひだほまれ」では葉色の褪めかたが緩慢なようである。

葉齢は、いずれの品種も平年よりやや遅れている。

### 2) 病虫害等の発生状況

「イネツトムシ」の“つと”が目立つようになった。また、「セジロウンカ(夏ウンカ)」の成虫が散見される。

本田では「葉いもち」の発生は無いが、葉いもち検定ほ場(ハウス内)では抵抗性の弱い品種で発生し蔓延しつつある。

### 3) 今後の管理

5月17日植「はなの舞い」の幼穂長は約2cmで、予想出穂日は7月27日(平年並み)。同「たかやまもち」の幼穂長は約1.5cmで、予想出穂日は7月28日(平年より1日早い)。極早生～早生品種の出穂期は、ほぼ平年並みと思われる。

草丈が短く茎数が多い“豊作型”の生育ではあるが、過繁茂となりやすいので注意する。穂肥は、幼穂長と葉色が褪めたこと(コシヒカリなら葉色板で3.5)を確認してから基準量を施用したい。しかし、葉色が濃いままの時は、さらに穂肥を遅らせ施用量を減らすようにしたい。

<参考> 前回調査時(7月4日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	47.6 (92%)	648 (114%)	4.9 (-0.2)	38.7 (+0.1)	9.0 (-0.2)
	前年	51.3	597	4.9	38.4	9.9
	平年	52.0	567	5.1	38.6	9.2
コシヒカリ	本年	52.7 (92%)	617 (107%)	4.9 (-0.3)	38.1 (-1.7)	9.1 (-0.4)
	前年	57.1	515	5.0	39.8	9.6
	平年	57.0	577	5.2	39.8	9.5
たかやまもち	本年	55.4 (101%)	593 (115%)	5.0 (-0.2)	41.9 (+2.8)	9.0 (-0.5)
	前年	53.3	440	5.1	41.8	9.6
	平年	54.8	515	5.2	39.1	9.5
ひだほまれ	本年	54.8 (96%)	406 (89%)	5.0 (+0.1)	39.5 (+1.1)	9.4 (-0.3)
	前年	62.3	515	5.0	39.9	10.2
	平年	56.8	454	4.9	38.4	9.7

岐阜県中山間農業研究所  
 TEL 0577-73-2029  
 FAX 0577-73-2751  
<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>